

## はじめに

本書は、呼吸器領域に関わる看護師がユニホームのポケットに入れて、いつでも使用できるようにまとめました。

昨今、呼吸器領域が重要視されています。その理由として、患者数の爆発的な増加、目覚ましい治療の進歩、の2つが挙げられます。超高齢化社会の到来に伴い、タバコを吸うことで罹患するCOPD（慢性閉塞性肺疾患）をはじめ、誤嚥性肺炎、肺がん等、高齢者ならではの疾患が著しいです。また医学の進歩は目覚ましく、呼吸器領域でも疾患の診断、治療の進歩に伴い、必要な知識の量は増える一方です。さらに、医学の進歩により疾患発病後の予後が長くなっており、ますます看護師の果たす役割が大きくなっています。

看護ケアを実践する上で必要な知識について、本書の第1章に「呼吸器領域の看護ケア」を、第2章に「呼吸器領域の主な疾患」をまとめました。簡便に理解できるように、簡潔な記述、イラストや表の多用を心掛けました。また、自分で書き込めるようMemo欄を設け余白を多くし、自分で調べたことや先輩から学んだポイントやコツ、気を付けることなどを記載していくことで、“自分だけの1冊”となるように作っています。

呼吸器領域に携わる多くの看護師に活用して頂くことで、患者さんやそのご家族へ、より安全で安心なケアにつながればと思っています。また本書を活用して、医療従事者間のコミュニケーションが円滑に進めば幸いです。

最後に、本書を作成するにあたり、写真やイラストを使用させてくださった東京都立多摩総合医療センターの皆様には感謝申し上げます。また、分かりやすく理解できるよう編集作業を進めてくださいました学研メディカル秀潤社の黒田周作さんをはじめとする編集スタッフの方々に、深く感謝申し上げます。

2020年3月吉日

筆者を代表して  
畑田みゆき・中田潤子